

教科: 家庭 科目: 家庭総合α 単位数: 2 単位

使用教科書: 家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

教科 家庭 の目標
【知識及び技能】 人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族、家庭の意義、家族、家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住・消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合α の目標
【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を深めるとともに、それらに係る技能を体系的・総合的に身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

Table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価標準, 知 思 感, 配時数. Rows include A (生活と発達), B (持続可能な消費生活・環境), C (持続可能な消費生活・環境), and 定期考査.

<p>D 衣食住の生活の科学と文化</p> <p>(1) 生活の科学と文化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人の関わりについて理解すること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養的特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活の課題について考える。 2. 食事と栄養 3. 食品の選択と安全 5. 調理の基礎 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・一人一台端末の活用 ・ワークシート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人の関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養的特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 	○	○	○	16	
後	実技試験		○	○		2	
<p>期</p> <p>D 衣食住の生活の科学と文化</p> <p>(1) 生活の科学と文化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人の関わりについて理解すること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養的特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。 	<p>指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 生活の健康を見逃した食事計画 5. 調理の基礎 6. 食生活の文化と知恵 7. これからの食生活 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・一人一台端末の活用 ・調理実習 ・ワークシート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・レポート ・小テスト 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人の関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養的特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 	○	○	○	16	
合計							70

教科： 家庭 科目： 家庭総合 B 単位数： 2 単位

使用教科書： 家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

Table with 2 columns: 教科 (Subject) and 家庭 (Home). It lists learning objectives such as understanding the relationship between family and society, and developing skills to solve problems in daily life.

Table with 3 columns: 科目 (Subject), 家庭総合 B (Home Comprehensive B), and 目標 (Objective). It details learning goals for knowledge, skills, and attitude.

Main curriculum table with 6 columns: 単元の具体的な指導目標 (Specific Learning Objectives), 指導項目・内容 (Instructional Items/Content), 評価規準 (Evaluation Standards), 知 (Knowledge), 思 (Thought), 感 (Feeling), 配時数 (Allocated Time). It covers topics like 'Science of Home Life' and 'Family and Society'.

<p>B 衣食住の生活の科学と文化 (2) 衣生活の科学と文化</p> <p>【知識及び技術】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めること ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること ・服装材料、服装構成、縫製製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を行っていくことができるよう日本の衣文化の継承・創造について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること。 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的・個性に応じた服装・装束、機能的な着装について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践できる。</p>	<p>指導項目 1. 被服を作る</p> <p>教材 ・教科書 ・一人1台端末の活用 ・ワークシート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。</p>	<p>【知識及び技術】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解できること ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること ・服装材料、服装構成、縫製製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的・個性に応じた服装・装束、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	16
<p>A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢者との関わりと福祉</p> <p>【知識及び技術】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切な関わりをするための生活支援に関する技術を身に付けること。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や高齢者及び高齢者福祉について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<p>指導項目 1. 超高齢・大衆長寿社会の到来 2. 高齢期の心身の特徴 3. 高齢者の自立を支える 4. これからの超高齢社会</p> <p>教材 ・教科書 ・一人1台端末の活用 ・ワークシート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・小テスト</p>	<p>【知識及び技術】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技術を身に付けることができること ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や高齢者福祉について理解できること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	16
合計						70